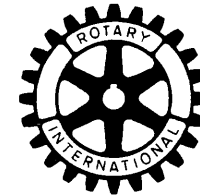


# ロータリーの窓



東京世田谷南ロータリークラブ  
ロータリー情報委員会

ロータリー  
文庫

## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

## Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

*First.* The development of acquaintance as an opportunity for service;

*Second.* High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying by each Rotarian of his occupation as an opportunity to serve society;

*Third.* The application of the ideal of service by every Rotarian to his personal, business and community life;

*Fourth.* The advancement of international understanding, good will, and peace through a world fellowship of business and professional men united in the ideal of service.

## ロータリーの窓 (新会員マニュアル)

### 目 次

ロータリークラブの例会に出席して	5
クラブライフとは何んでしょう	5
ロータリークラブの会員の選び方と、ロータリークラブの目的	6
ロータリークラブの入会金の使い方	7
入会金と会費を払込めばロータリークラブの会員になれるのでしょうか	8
ロータリークラブの奉仕	9
ロータリークラブの組織と委員会	10
ロータリークラブの委員会について	10
例会への出席とmake up	12
新会員は歓迎されています	15
ロータリー活動と職業活動との調和	16
ロータリークラブには何故女性会員を迎えないのですか	17
ロータリークラブの会員を増強しましょう	17
クラブ功労者顕彰制度	18
仕事が先でしょうか、親睦が先でしょうか	19
ロータリークラブとCommunity Life	21
ロータリークラブで留意すること	22
世界のロータリークラブとの関係	23
遠に行われた委員会活動の主なものとロータリー活動の主なもの	25
お詫言に	27
編集後記	28
編集委員より	29

## ロータリークラブの例会に出席して

ロータリークラブに入会したばかりで、クラブのことは何も解らないまま例会に出席してみますと、いきなり親睦委員会に配属され、青ダスキをかけて下さい、これから例会場の入口に立って、会員やお客様のご案内して下さいと頼まれてしまいました。

青ダスキをかけることは何となく恥しい思いで、例会に出席することの重い感じさえします。例会場には、他に赤いタスキをかけた人もいますが、この方々は恥しくないのでしょうか。ロータリークラブに就いてこられる方々は、社会的にも、また職場でも指導的立場にある方ばかりですから、部下や若い人がこのようなことをすることはありましょ。自分がこのような役割を果す立場に立つことは稀でありましょ。それに、いきなりこのような立場に立たされると、何か気恥しさの方が先でしまい、例会に出席する楽しみが薄れるようにさえ感じられます。

新会員は何故こんな立場に立たされなければならないのでしょうか。

## クラブライフとは何んでしょう

こういう疑問を解決するために、まずクラブライフを「楽しむ」ということを考えてみましょう。

クラブライフで大切なことは、先ず命令系統がないということです。会員はすべて平等で、互に寛容であり、融和することが大切です。それ互に競争しないことも肝要です。また、クラブには一定のルールがあり互にこのルールを守り、ユーモアのある楽しい交友関係を保ったうえでクラブライフを楽しみたいものです。

青ダスキをかけることは、多くの会員と交友の場を広げ、また自分

り会員に一日でも早く知ってもらい良い機会であると思います。さらに他  
り会員の方々に奉仕をする精神を身につけて頂く絶好の場でもあるのです。

### ロータリークラブの会員の選び方と、

### ロータリークラブの目的

ロータリークラブでは会員を選ぶときに、先ず原則として、一業種から  
一人の代表的な人を選んで入会して頂くことにしております。業種が異な  
れば、お互に競争する心配もありません。また、その道でも皆様一流  
の方々ですから、色々学ぶものがある筈です。

それから、ロータリー綱領の精神と定款、細則を良く説明して、これに  
調った行動をとりたいと思われた方に入会して頂くのが本来の姿であり  
ます。然し現実には、仲々こうは参りません。面倒なことは後廻しにして、  
楽しみだけを前面に出す傾向が一般的でしょう。

一般的には、ロータリークラブは楽しくて良いクラブですから入会して  
は如何ですかという程度の話で、それなら入会してみましようというほど  
軽い気持で入会してこられる方々が、大部分ではないでしょうか。

従って、新しく入会してこられた方々は、ロータリークラブの定款、細  
則を守りますという契約をして、ロータリークラブの会員になったのだと  
いうことに気がつかない方があります。ロータリー精神の説明書とか、規  
則を読み、良く諒解した上で入会の契約をした方は、殆んど無いといっ  
てよいでしょう。

クラブの当事者も、入ってこられる方々は、皆一流の方々ですから、ロ  
ータリーのことは一応解って頂いているものと思って、ロータリークラブ  
の定款、細則について詳細な説明をせずに、解説書等の印刷物を渡して安

心してしまうということになります。

新しく入会してこられた方が、ロータリークラブは楽しくて良いク  
ラブであるという意識が強すぎますと、ロータリークラブは単なる社交ク  
ラブになってしまいます。ロータリークラブが社交クラブと異なる点は、会  
社の目的とするものが世界的に認められていることです。

ロータリークラブの会員が目的としていることは、ロータリークラ  
ブの定款に定められている綱領であります。従って綱領は良く読んで理解し  
てきたいのであります。当クラブでは、新会員のために情報委員が説明を  
行っております他に、会員名簿や、会報に掲載したり、色々な機会に綱  
領の周知徹底をはかる工夫をしております。

ロータリークラブは、この綱領の奉仕の精神をもった個人が会員とな  
っているクラブであります。

### ロータリークラブの入会金の使い方

新しく入会を希望しますと、特別の説明もなく入会金の請求がありま  
す。が、考えてみますと、クラブの会員は、入会する方もあれば退会する  
方もある訳ですから、クラブが財産を持ちますと、その財産の所有者は誰か  
かという疑問があります。従って退会の時に返還しない入会金という  
ものには疑問を感じないものと思います。

然し、クラブを運営するためには、事務室をもち、必要資料を整備し  
これを保管する什器備品、事務機器を備えつなければなりません。事務  
室を借用するための敷金、保証金は特に大きな金額が必要です。その外  
にクラブとしての記念すべき年には、特別行事を行わなければなりません。  
このためには、或る程度の財産を持つ必要があります。

このため、クラブ創設以来の会員が努力して財産を積立ててきたのであります。といいましてもクラブ創設以来の全会員が現在残っておられる訳はありませんので、現在クラブに在籍している会員のクラブ財産と見做しているのです。

入会金は、クラブの一般会計の収入に計上されていますが、一般会計が剰余金が生じた場合には、クラブの財産に繰込まれています。

### 入会金と会費を払込めばロータリー クラブの会員になれるのでしょうか

この入会金と、会費を払込めば、ロータリークラブの会員として入会式行われる訳ですが、本当はこれだけでは、ロータリークラブの会員にはれないのです。

本当の会員になるためには、ロータリークラブ定款の綱領の中に示されているロータリーの原則を受諾した上で、ロータリークラブ定款、細則に、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾しなければならないのです。

然し、世の中の常として、規則を前面に出しますと固苦しく、不自由な感じが先立ち、拒否反応の方が強くなりがちなものです。そこで、このよな契約があることは差し置いて、クラブは楽しい処ですよという話が先して参ります。

人生は入り易く、卒業が難しいという方が良いのかもしれませんが。

そのために、ロータリークラブでは、先ず会員の親睦をはかることを第一としております。同じ目標をもった方々を知り、その方々と深い友情を結びあえることは、幸福な人生の第一歩であります。その上に、利害関係

のない方々と、奉仕の人生を歩むことは、これからの人生にとって、楽しく且つ有益なことでもあります。

若い間は、家族をつくり、自分のため、家族のため、自分に投資をし、更に自分のため、また家族のために働かなければなりません。こういう努力をして成功された方が、中年以上になってまいりますと、幸福な人生の中で他人のことも気になる時代がくるものです。幸福な人程、世の中の恵まれない人々のことが気になる時がある筈です。また周囲の方々に色々とお世話になっていることに気付くようになるものです。その様な気持ちを抱いて、世の中に何かお返しをしてみたいと感じた方々が、ロータリークラブに入会してこられるのではないのでしょうか。

### ロータリークラブの奉仕

ロータリークラブでは、寛容と融和、他人に対する思いやりの精神の下に、四つの奉仕を目的にしています。この奉仕という言葉の説明は、仲々難しいことですが、これは兎も角として、先ず自分が実行してみようということが大切です。I serve という精神で始めてみることです。日本人は集団行動が好きな人種であるといわれていますが、ロータリー精神では、We serveではなく、I serveが目標となっています。勿論I serveが発展して、We serveにまで行くことは結構なことです。

ロータリー精神となっている四つの奉仕は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕であります。この精神を文章にまとめたものが、ロータリー綱領なのです。このロータリー綱領を実践するために、ロータリークラブでは、四つの委員会を設けていますが、それは、クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会であります。

## ロータリークラブの組織と委員会

ここで、ロータリークラブの組織を考えてみましょう。ロータリークラブには、理事および会長、幹事、会計、S.A.A. という役員の他に、委員長、委員という編成になっています。これだけを見ますと、会長を長とした命令系統があるように思われます。然し、これは誤解でありまして、所謂タテ社会ではありません。

各理事、役員、委員長、委員ともに、特別のものを除けば、任期は一年であります。クラブの全会員が交替で色々の役目を受持ち、クラブに、職業に、社会に、或いは国際社会に奉仕しているのであります。

ロータリークラブの会員は、active member と定められています。ここに示されている active という文字が大変大切な意味をもった言葉であると思います。ロータリークラブでは、クラブの運営について、全会員が参加するのです。全会員の意志が尊重され、これが実行されているのです。これは自由主義国で尊重されている自由な組織形態であります。しかも命令系統のある社会ではなく、お互いに奉仕する精神の下に編成されている組織であります。

従って、クラブの全会員が、すべて各委員会に配属され、一年間の実行目標を、各委員会の全メンバーの総意をまとめて作成します。これを理事会が承認しますと、夫々の委員会が活動を始める訳です。これが active member と定められている所以です。

## ロータリークラブの委員会について

新会員に、早くロータリークラブの組織を理解して頂くために、入会と同時に、委員会に入っている訳です。

委員の任期は一年ですから、一年経過しますと他の委員会に移ることになります。ロータリークラブでは、先ず委員会活動を理解して、委員会活動が楽しくならなければ、クラブライフを楽しむことはできません。そこで各会員が、自分に適した委員会はどこか、或は入ってみたい委員会はどれかを考えてみることは楽しいことです。然し、一般に自分の意志を表明しても、その結果が良い成果につながるかどうか自信がもてませんので他人が定めた委員会に配属され、漫然と一年を過してしまいがちです。これが苦痛に感ずるようになりますと、クラブライフを楽しむどころではなくなります。

委員会の編成会員には、長い経験をもった会員や、経験の浅い会員が、お互に融和できるように配分されていますので、余り難しく考えて頂きたくないのです。奉仕の精神をもって、クラブの運営に参加することに楽しみを味わって頂きたいのです。

I serve above Self.

He profits Most who serves Best.

それから、四つのテストを見て、各々の言葉の意味を噛みしめ味わって頂ければ、委員会活動はきっと楽しくなってくるでしょう。それだけではありません。委員会の皆さんと話し合い、お互に理解し合うということに更に楽しく、また有益でもあるのです。

ロータリークラブでは、役員や委員の場合でも、頼まれた場合は快く引受けるという習慣になっています。自分が委員会を選んだ場合には特別に問題もないことですが、他人が定めたために自分の心にそわない委員会でありましても、任期は一年間ですから、寛容の精神をもって引受けて下さい。

## 例会への出席とmake up

ロータリークラブの会員は奉仕の精神をもっているといいますが、奉仕の機会として知り合いを広めなければ、奉仕の輪は広がりません。それで新しい会員は、先ず入会したクラブの会員を知ることから始めます。

このためには、先づ毎週の例会に出席することです。例会場は、S.A.A.が会場を良い雰囲気の中で開けるように配慮し、楽しめる食事を提供します。親睦委員は、会員やビジターを温かく迎え、出席者が楽しく語り合えるように配慮します。会長・幹事は適切に行事の進行を行います。またプログラム委員は、有益な卓話を提供します。

会員が所属している会社や団体では、このようなことは、部下のする仕事です。ご自分は命令監督をしていれはすむことです。そのような立場の人が、このようなことができるということは、自分達のクラブは自分達の手で運営するという奉仕の精神の現れであり、お互いに交替でお世話を引受けるのだということを理解しているから、余り抵抗を感じないですむのであります。全く不思議なことです。

S. A. A. は赤ダスキ、親睦委員は青ダスキをかけていますが、外部の人が見ますと、地位があり、いい年の人が子供のような姿をしてと、滑稽にさえ感ずることもあろうかと思えます。然し、これはユーモアでありまして、余り真面目に考えない方がよいと思えます。日本では、とかく物事を真面目に考え過ぎる傾向がありまして、物事に遊びがない面をもっています。クラブライフでの遊びと余裕を感じて頂きたいものです。

例会の始めに歌を唱うのも、肩の力を抜いて心を開くには、大変適当な方法であると思えます。ロータリーソングには、奉仕の精神の普及があり、友情の輪を広げる精神が盛り込まれています。また「今週の歌」は、歌唱

力の衰えた中年以上の方々でも唱える歌です。しかも、クラブには私共には勿体ないソングリーダーがおられます。歌詞とか歌唱力は兎も角として音を楽しみ声を出すということは、私共の心を開くための大変良い行事だと思えます。

それから、ビジターを紹介して「歓迎の歌」を唱い、皆様と握手して廻ることは、友情を確かめ合うために大変良いことです。童心に還って、心を開くことが、友情の輪を広げることになりましょう。

例会を楽しく感ずるようになれば、例会の日程が凡てに優先して、皆様の予定表に記録されるのではないのでしょうか。

然し、職業や団体の責任者ともなりますと、仲々自分の都合ばかりで予定を組立てる訳には参りません。自分の体でありながら、自分の体ではないと思う程に日程がたてこむこともあります。このような時は、他のロータリークラブの例会に出席して頂きたいのです。

他のロータリークラブでも、ビジターを喜んで歓迎してくれます。私共のクラブに来られたビジターは、私共が歓迎します。こうしてロータリークラブの会員は、世界中のロータリークラブの会員と交遊することができ友情の輪を広げることができる訳です。世界の平和も、お互に知り合い、話し合うことから始まるものです。

ビジターとして出席すると、ビジターフィーを支払わなければなりません。クラブに会費を支払っているにも拘らず、他のクラブに行きビジターフィーを支払ってまでmake up をしなければならぬということは、何か割切れないもの感ずることでしょう。然し、考えてみますと、私共は東京世田谷南ロータリークラブの会員であって、他のロータリークラブの例会に出席できるという権利は無い筈であります。それが他のロータリークラブの例会に自由に出席してもよいということは、ロータリークラブの

会員だけに認められている特典であります。従って、この特典を活用して知り合いを広めるために、ビジターフィーを支払うのであります。

当クラブの例会でも、また、ビジターとして他のロータリークラブの例会に出席した場合でも、卓話を終りまで聞き、例会終了のゴングが叩かれてから、席を立つのが礼儀であります。然し、ビジターの中には食事が済むと席を立つ人が多く見られます。これではロータリークラブの例会は、単なる昼食会になってしまいます。定款では、例会に充てられた60分の時間の少くとも60%、即ち36分間は出席していなければ、make up とは認めていないのです。然し、36分経過しますと、卓話が始まってしまいますので、話の途中で席を立つのは、卓話者に失礼にあたるかと考えて、食事が済むと席をたつのでしょうが困ったことです。

仕事が多忙で、例会に出席できず、make up もできないという場合もあると思いますが、止むを得ない場合には、物事を余り難しく考えないで頂きたいのです。定款の規定を逆に考えますと、例会の欠席や make up もできなかったという事態が生じましても、連続3回までは許されていますし、半年間の欠席が40%にならなければ差し支えありません。また、半年間の所属クラブの欠席が30%にならなければ差し支えないのです。それだけ、会員が多忙であろうということを考慮している訳です。

ロータリークラブでは、出席を強く要請しているにも拘らず、敢えて欠席の許される限度を説明したのは、多忙のため止むを得ず欠席がちになった会員が、クラブに迷惑がかかるのではないかと心配されるからであります。要は、奉仕の機会として知合いを広めるために、例会に出席し、止むを得ない場合は make up をするのだという意欲をもつことが大切なのです。

ロータリークラブの規則は、次第に時勢にあうように改正され、make

up もできますし、止むを得ない場合の欠席も相当に許されているのです。

### 新会員は歓迎されています

他のクラブにビジターとして出席しますと、クラブ名と姓名を呼んで紹介したうえで歓迎して下さるのに、自分のクラブでは、入会日こそ壇上で紹介して貰いましたが、以後は、例会に出席しても、声をかけて貰えませんか、どの席に座ってよいのかもわかりません。本当に自分は歓迎されているのだろうかと感じる新会員もあるようです。然し、このような状態にはあまり拘泥しないで頂きたいのです。日本人は、お互いに社交は上手ではないようですが、各会員は新会員を歓迎しています。特に、親睦委員、S. A. A. 情報委員は、新会員が親しんで頂きたいと気を配っておりますので、こういう方々の隣に席を取るとはよいことです。尚、一番よいことは、紹介者と一緒に席をとって、廻りの方々に紹介して貰うことです。

この他に、ご自分のお知り合いの方を、クラブ会員に紹介して下さいれば、更に例会は楽しくなりましょう。

日本人は、余り目立たないように心掛けることを美德とする傾向がありますが、これからは、ある程度積極的に自分を売込むことも必要な時代になって参りました。現在は、情報化社会といわれている程ですから、人を知ると同時に、自分のことも他人に知って頂くことは大切なことです。

新会員のイニシエーションスピーチは、このために設けられた時間です。イニシエーションスピーチの後には、会員の親しみの眼も変って参ります。

例会の他に行われる家族会、旅行等の行事には、できるだけ参加して下さい。Formalな会合より Informal な会合の方が、お互いに袂を脱ぎますので、心が開かれ親しみも増してきます。その上、家族同志の交流もで



きますので、クラブライフは楽しいものになります。

親睦委員の姿を見ていますと、時々気の毒にさえ感じます。社会的地位や資産のある方が、旅行や宴会のサービスを行っておられる姿は、従業員や家族にはあまり見て貰いたくない姿ではないでしょうか。然し、これが何の不思議もなく行われているということは、クラブ奉仕の精神の現われ以外の何ものでもありません。例会等の集りでも、少し早めに出掛けて、皆様と話し合いたいものです。そのために各委員は努力しているのです。

### ロータリー活動と職業活動との調和

ロータリークラブの会員は、職業を通じて社会に奉仕しようという職業人の集りです。従って、職業によって利益をあげることと、社会に奉仕することとの間に矛盾を感じたり、クラブの行事に熱を入れすぎますと、職業を遂行する時間をとられて困るという人が多いことと思います。これも日本人の真面目さの現われではないでしょうか。ロータリークラブは職業人の集りですから、先づ第一にご自分の職業が成功していなければなりません。その上で、ご自分の幸福を他の人にもわけてあげたいという奉仕の精神から出発するのが、ロータリー精神ですから、ご自分の職業が大切です。

職業に熱心な方が、奉仕の精神を職業に生かし、その精神を従業員に徹底したり、更に四つのテストを守っている姿は美しいものです。この様な精神に溢れた職業人は、ロータリーのモットーとしている“ He Profits Most Who Serves Best ” の境地に入ってくることでしょう。

### ロータリークラブには何故に 女性会員を迎えないのですか

ロータリークラブの会員は定款で、善良な男子であって職業上良い世評を受けている者となっていますが、何故女性は会員になっていないのだろうと思う方は多いことでしょう。ロータリークラブの会員を一業種一人と定めて、職業による競争を避けようとしている考え方と同じ様に、無用のトラブルを避けようということだと思います。この他にも、女性に対する service から解放されたいという男性の希望もあろうかと思えます。色々問題になっていますが、今の処は友情は愛情に優先するということになっております。

然し、人種差別をしてはならないと同様に、会員入会の資格に男女の差別をつけてはならないという世論が高まって参りますと、ロータリークラブの規定が改正され、女性会員を迎える時代がくるかもわかりません。

### ロータリークラブの会員を増強 しましょう

会員になったときは、中年であっても、人は次第に年令を重ねますし、会社勤めの方にとっては、定年もあれば、役員からの退任ということもあります。ロータリークラブが本来職業人の集まりであるということを考えますと、職業から離れた方は、クラブから退会するのが当然であります。然し、それでは、本人にとっては友人を失うことになり、またクラブとしてもロータリーの経験者を失うことになり、お互に損失であります。それで一つまたは、いくつかのクラブで通算3年以上正会員であったか、或いは会員歴に関係なく55才に達している人は、パストサービス会員として残

って頂くように改正されています。

また、一業種一人の会員が高令になって参りますと、その人は必ずしも、その業種を代表しているといえない場合もあります。そこで、シニアアクティブ会員という制度も設けてあります。

パストサービス会員、シニアアクティブ会員は業種を代表しないことにして、その方々の業種から新しい会員を迎えてもよいことに定めています。これは、長年、職業や社会、ロータリークラブに貢献してこられた方々を尊重しながら、クラブの若返りをはかってゆく良い制度であります。

ロータリークラブの会員の若返りのためにも、またロータリークラブの活動を活発にするためにも、会員は多数である方が活動し易い訳ですから、お知り合いの方をどしどし増強しましょう。

こゝで問題になってくることは、会員の量と質の問題であろうかと思いますが、世の中には立派な方が多数おられますので、余り気にすることもないでしょう。

### クラブ功労者顕彰制度

当クラブで誇り得るものの一つに、クラブ功労者顕彰制度があります。これは当クラブだけの特別な制度ですが、標準ロータリークラブ定款、推奨クラブ細則の意志に反しない範囲で、当クラブの細則を改正したものであります。

当クラブ在籍10年以上を含むロータリークラブ通算15年以上会員であって、77才に達したシニアアクティブ会員が、これまでに奉仕の理想を鼓吹育成して下さった功績を、「クラブ功労者」として特別に推挙し表彰する制度であります。長年のロータリーの経験を、次の世代に引継ぐためにも、

長く会員として残って頂きたいものです。

高令者は次第に友人が減少し、以前の職場を訪ねても、浦島太郎のような気分さえなる筈です。然し、ロータリークラブでは、皆様に歓迎されます。悲しいことではありますが、高令者の葬儀の会葬者は少いものです。然し、ロータリークラブの会員は異なります。それは友人が多いからです。ロータリークラブの会員は、active member の文字が示す通り active に活動している現役で、世の中からの隠退者ではなかったからです。

### 奉仕が先でしょうか

### 親睦が先でしょうか

ロータリークラブは、奉仕の精神をもった人々の集まりであると承知していますが、クラブの予算を見ますと、奉仕のために支出する金額は大した金額ではありませんのに、親睦のことになると、相当の経費を計上しているので、何となく矛盾を感じますという方があります。

こういう感じをもたれるのも尤もな面があります。然し、奉仕というものは、I serve が第一でありますので、クラブが奉仕する金額は、それ程多くはならないのです。

ここで説明している奉仕関係の予算は、対外的にクラブとして奉仕を行う予算、即ち、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕関係の予算でありまして、この関係の奉仕関係予算は、一般会計予算、即ち、会員が支払っている年会費の中には、殆んどないといってよい位です。いわゆる、受益者負担ともいうべき金額で、この予算で利益を受けるのは、会員自身であります。委員会関係予算はありますが、これはクラブ関係の予算でありまして、対外的奉仕の予算ではありません。

国際奉仕関係のポリオ・プラス寄付金が年会費と一緒に請求されていますので、或いは錯覚されるかもしれませんが、これは特別寄付金でありまして、年会費には含まれてはおりません。クラブとして対外的に奉仕を行うための財源は、例会毎に会員から拠出して頂いているニコニコボックスの奉仕関係予算です。奉仕会計予算は目下の処 300万円乃至 400万円にすぎませんが、皆様がニコニコしながら拠出して頂くことを期待した予算なのです。

毎年の奉仕会計予算をご覧になって、会員一人当りの平均金額を計算し、これを年間の例会に割当てて拠出して頂けるならば有難いことです。

ニコニコボックスには、会員がニコニコしながら自由意志で拠出するのが本来の趣旨ですから、ご自分の喜びを他の会員に分けるためにも、例会を盛上げ笑いを広げるようなユーモアをもった言葉をそえて拠出することは好ましいことです。楽しみながら、I serve が We serve に進むことは、更に楽しいことではありませんか。

ニコニコボックスを年会費の中に含めてはどうかという考え方もあります。然し、奉仕というものは、ご自分の労力やポケットマネーまたはご自分の財産から行って初めて意義があるのではないのでしょうか。そのために別会計にしている訳です。法人として拠出したり個人で拠出したりする場合がありますが、これは税法上の問題もありますので、夫々のご都合で考えて下さい。

奉仕の精神をもった人の集まりであるロータリークラブが、とかく贅沢に流れ勝ちではないかという批判もあります。ロータリークラブでは出来るだけ簡素で楽しい有意義な会合を開くように呼びかけをしたガバナーもあります。この点は、役員も親睦委員も心掛けております。然し、会員は社会でも一流の職業人でもありますので、簡素にと心掛けながらも、余り

ケチなこともできません。皆様身分相応というところを探すのに苦労しているのです。

要は、I serve をしっかり実行していれば、世間も理解して下さるのではないのでしょうか。この点、世間の理解は、まだ少ないように思います。ロータリークラブとはどんなクラブなのですかとか、お金持の贅沢なクラブでしょうなどという言葉、折にふれて聞くことがあります。ロータリークラブとしては、できるだけ広報活動を行うとともに、身を慎むこと忘れないようにしたいものです。

#### ロータリークラブと Community Life

私共が社会で職業をもち、家族をもって成功するまでには、色々の方のお蔭を蒙っておりますが、その他に、ご自分が住居をもったり、職業もったりしている地域にもお世話になっていきます。そもそも住居と職場大体同じ処でしたが、文化や経済が発達するに従って、住居と職場は分るようになりました。然し、住居か職場か、いずれかが属している地は、私共にとって大切な処であります。

ロータリークラブでは、職場か住居を同じくする人々を、会員に選んでいます。これは地域に対する感情を同じくする人々を集めているということです。地域に対する愛情を同じくする人が集まれば、地域を住み易い環境にしたいと思うでしょう。ロータリークラブにはキリスト教の精が入っておりますので、教会の地域に対する精神にも近いものがあります。所謂コミュニティライフという観念でしょう。ところが、私共の都会生では、隣は何をする人ぞというような生活に入りすぎて、隣人愛の観念失っていないでしょうか。

私共は、地域社会という観念を失いがちですが、これを思い出させてくれるのが、ロータリー精神であると思います。

ロータリーでは、そのクラブの地域社会を定めて、その中で私共の社会奉仕を必要としている人や団体を探して奉仕をして下さいと勧めています。東京にはロータリークラブが数多くありますが、各クラブの奉仕活動が重複しないように、クラブ毎に地域を定めているのです。当クラブの地域はクラブ指針に示してある通りですが、この地域は、東京山の手クラブの地域と重複しております。当クラブから東京山の手クラブを分離新設したとき、地域をどうするかということが検討されました結果、従来の社会奉仕の関係からも東京山の手クラブをAdditional Clubとして新設することになったのです。

当クラブの地域に住んでおられる会員は、例会ばかりではなく、家族ぐるみの交際も盛んです。この方々の姿を見ますと、Community Lifeは本当に楽しいものであると感じます。

なお、特に付け加えておきたいことは、Community Lifeを強調しすぎて奉仕の機会を、当クラブの地域に限定してしまわないようにということです。クラブとしての社会奉仕は、出来るだけ当クラブの地域を優先しますが、個人として行う社会奉仕は、地域に拘泥する必要はありません。奉仕の機会は、何時でも、何処でも差し支えないのです。

### ロータリークラブで留意すること

色々とロータリークラブのことを説明してきましたので、会員は凡てロータリー精神の実践者で、神様のように見えるかも知りませんが、決して神様ではありません。神様から見れば、善と悪との間を揺れ動いている人

間にすぎません。但し、自制心をもって善に向かっている人達ではないでしょうか。迷いは当然ありましようし、行き過ぎや、主義主張の違いも当然のこととしてありましよう。

会員間の商取引は差し支えありませんが、この場合でも、一般の商取引と同様に、コマーシャルベースで行われなければなりません。さもないと友情を失う心配がある訳です。

ロータリークラブの会員であることが解れば、他人も信用しますので、ロータリークラブの会員であることを、商売の手段に使いたくなるかと思いますが、これは、ロータリー精神に反することです。ロータリークラブのマークを商品に使用することも、ロータリー精神に反することです。禁止されています。

またロータリークラブでは、政治には関与しないことになっており、政治に関与しますと、集団は分裂する運命にあるからです。さらに地域社会、国家及び世界の一般福祉に関心をもち、討議することはよいことですが、係争になっているような公共問題については意見を表明しないことになっています。

### 世界のロータリークラブとの関係

世界には2万以上、日本でも2千近いロータリークラブがあります。これらのクラブが夫々勝手な活動をしますと、ロータリーの精神が混乱しますので、ロータリーの発祥の地である米国に国際ロータリーの本部を置いて、各ロータリークラブの活動方針を調整しています。

然し、ロータリークラブの数も多く、地域も広いので、本部だけでは整えることはできませんので、全世界を6つのRegionに分け、それを

に、いくつもの Zone に分けています。日本はアジア Region の中の Zone に入っております。

日本だけでも広過ぎますので、地区 (District) に分け、更に分区 (Group in District) に分け、更にこれを Territory に分けています。当クラブの属している第 275 地区、山の手分区、および当クラブの Territory は、クラブ指針に示されている通りです。

この組織を説明しますと、ロータリークラブは本部を中心にした命令系統があるようにみえますが、命令系統がある訳ではありません。国際ロータリーの会員となっているのは、全世界の各ロータリークラブなのです。これは、ロータリークラブと、その会員の関係と同様であります。従って、ロータリークラブで個人が主体であると同様に、国際ロータリーでも各ロータリークラブが主体であります。要するに、同じ精神の下に作られた全世界のロータリークラブとその会員が、共通の目標、目的をもって奉仕活動が行えるように、本部が意志の疎通をはかり、活動の調整をはかっているのです。

全世界のロータリークラブの共通の柱になっているものが、国際ロータリー定款、細則であり、標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則であります。各クラブは、これらに定められている精神を守って、独自の活動を行えばよい訳であります。これは命令系統ではなく、定款、細則を守りますという契約なのです。若し、定款、細則に疑問があったり、不満があれば、規定委員会に提案して、改正を要求すればよいのです。

人間社会の常としまして、会員やクラブの活動には盛衰がありましょうし、誤解もあることでしょう。それで、ロータリー活動を正しくまた盛んにするために、クラブ、分区、地区で勉強会を開いたり、地区で大会を開いたり、本部で世界大会を開いたりする訳です。また地区のガバナーが、

地区内の各クラブを訪問して、活動状況を見て廻り、各クラブの相談にのっている訳です。国際本部及びその他の役員は、凡て選挙によって選ばれています。世界の地区割は選挙のための区割でもある訳です。

国際本部は一年の活動目標を示しますので、各クラブはその精神を中心にして、クラブとしての一年の活動目標を定め、ロータリー精神の実現のために努力する訳です。地区でも大会を開いて、本部の精神の徹底をはかると共に、勉強会を開いていますので、地区大会、地区の勉強会には是非出席して頂きたいものです。

当クラブが属している第 275 地区大会で、日本の国歌の他にアメリカ合衆国の国歌が唱われますので、ロータリークラブの本部がアメリカにあるためかと思う方もあるかと思えます。これは誤解でありまして、本当は、第 275 地区には、グアム、サイパンが入っているために、アメリカ国歌を唱う訳であります。

ロータリークラブでは姉妹クラブ提携も行っておりまして、当クラブでは、台北城北扶輪社と姉妹クラブ提携の調印を行い、お互に訪問し合って親睦を深めると共に、ロータリー活動を行っております。

#### 今迄に行なわれた委員活動の主なものと

#### ロータリー活動の主なもの

地域に対する社会奉仕と、発展途上国を対象とした国際奉仕で、特筆すべきものとしては、牟田会員が主導された「障害のかきねをはずそう会」と、田中雅治会員が主導された「ネパールの肺結核予防」があります。

ロータリークラブの予算は単年度で定められていますし、委員も 1 年で交替しますので、1 年以上に亘る活動計画はたて難いものです。従って、

ロータリーの活動計画は1年間で終了するような計画を企だてるのが原則です。

然し、出来ることならば、継続性のあるものが好ましいことはいうまでもありません。従って、ロータリークラブが途をつけて、他の団体や有志の方に、この精神を引継いで貰い、ロータリークラブ或いはロータリークラブの会員が蔭で後援を行うことが好ましいとされています。「障害のかきねをはずそう会」も、「ネパールの肺結核予防」も、その後、形を変えて継続されています。単年度の計画に、継続性をもたせた良い例であろうかと思えます。

このような素晴らしい委員会があるのですから、ご自分に適していると思われる委員会活動を選んで、積極的な委員会活動をするようになれば、クラブライフを楽しく且つ有意義にすることができましょう。然し、ご自分で委員会を選ぶ会員は殆んどないのが現状です。

他に、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付によりまして、外国の留学生を受け入れたり、外国への留学生を派遣することに貢献することもできます。またクラブの事業として、青少年の交換学生を受け入れたり、派遣したりすることもできます。

フィリピン残留の日本人の子弟の教育のためのバギオ基金がある他にも、色々と国際奉仕の機会もあります。

現在、国際ロータリー本部が取組んでいるのは、3H運動とポリオ撲滅のための基金募集です。

これ等は凡て、国際間の理解と親善と、世界の平和が目的なのであります。

## お し ま い に

ロータリー精神は好ましいが、ロータリークラブは余り好きではないという人もありましょう。主義主張は好きでも、それを実現するための手というか、組織、機構と、その実施方法には同調できないということであろうかと思えます。

この点では、ロータリークラブは、飽くまでも個人の意志が尊重されるクラブでありまして、集団の意志を優先させるクラブではありません。って、奉仕は、ロータリーの精神にそって、個人が実行すればよいのでクラブの奉仕予算が少なく、親睦に傾き過ぎてはいないかなどと思う必はないのです。クラブライフを楽しみながら、奉仕の途を歩めばよいのです。

ロータリークラブは職業人の集りですが、長年クラブに在籍された方高令になりまして年令制限がある訳でもありませんし、職業を離れてご自分にその意志さえあれば、末長く活動できるクラブです。

また会長及びその他の役員、委員長も、1年経過しますと、再び一會になって、新しい委員会に所属し、新しい目標、目的に向って、ロータリー精神を実行して行くのです。

ロータリー精神のことを余り難しく考え過ぎますと、クラブライフが屈になりましょうし、クラブライフの楽しみに傾き過ぎますと、ロータリー精神が疎かになりましょう。ロータリー精神と、クラブライフの楽しみの調和をはかりながら、奉仕の途を進んで頂きたいものです。

## 編集後記

6年前に当ロータリークラブで、会員、とくに新会員への案内書として「ロータリークラブあれこれ」を発刊し、極めて好評を得た。

近年に至り、各クラブに共通したものではなく、当クラブ独自の活動を中心として新会員に対するガイドブックを作成しようとの意見が強くなってきた。これは従来からの当クラブ独自の四大奉仕活動について他のクラブの注目を集めるところとなったこと、また新会員が増加してきたことにも起因している。

かかる経緯から前年度小村聡ロータリー情報委員長が中心となって、各委員と精力的に検討の機会をもうけ、前回とは趣をかえて新会員は勿論、他会員にも通読し易く且つ当クラブの特色を充分盛り込んだ「新会員マニュアル」を発刊することになった。

日々のロータリー活動の中で疑問に思いながら、慣例でそういうものかと半分理解したつもりで奉仕してきた事柄が、本書で明快に説明されている。その意味では、長年会員であった者あるいは他クラブ会員にも貴重な参考資料になるものと確信している。

ロータリー情報委員会ばかりでなく、他の委員会においても広く活用していただければ幸いである。

'87～'88年度ロータリー情報委員会

委員長 海 谷 利 宏

## 編集委員より

当初、小屋前会長のご熱意によって、新会員のための判り易い手引書をつくろうという企画が立案されました。当時の小村ロータリー情報委員長を中心として、いろいろと検討が行われましたが、「手引書」というの言うは易く実際には仲々難しいものであります。ロータリーとはこういうものだという解説書や、ロータリーライフの中でしばしば出会う所謂ロータリー用語の解説書であれば、他のクラブからも沢山出されていますし、このたび地区でも新しいものを作られました。その他に新会員用には、原勝樹「ロータリー入門」や佐藤千寿「ようこそロータリー」などの不朽の古典も用意されています。従ってそれらに類する手引書を作成してみても、いたずらに屋上屋を重ねることになり兼ねません。むしろ、より本で、ロータリーのところを新会員に伝える冊子が欲しいものだということになりました。

小村前委員長が筆をとられたこの「ロータリーの窓」は、ベテラン会員書かれた極めて味わい深いロータリー観であって、小村イズムが脈々と流れております。造詣深い長老会員のお言葉として、素直に納得出来るものがあります。この折角の労作を、寄ってたかってありきたりの手引書にってしまうのは誠に勿体ない、むしろ、あまり手を加えずに、そのまま小字にした方がよいというのが編集委員一同の意見でありました。

手続要覧にもありますように、ロータリーは、基本的には一つの人生学であります。哲学であるからには、ロータリアンがそれぞれの立場でロータリーの理想について「考える」必要があります。そして、各人がの裡に画くロータリー像は、厳密には十人十色であります。

富士山に登るのに、表口登山道の他に、御殿場口、須走口、吉田口と

東京世田谷南 贈寄殿

00.10  
11725  
ロータリー文庫

ろいろあるように、ロータリーの奉仕の理想に達する道は各人それぞれが違った立場で考え、想い画いたその道を進めば良いのだということであり  
ます。

けれども、山道に迷い込んでしまったら何にもなりません。そのような  
ことのないように、特に新会員の方は、先輩のお話を自分なりに咀嚼しな  
がら、とくと傾聴する必要があると思います。

細部に亘っては、意見の違いを感じる会員の方もいるかと思いますが、  
それは枝葉末節であります。判らないところがあったら、ロータリー情報  
委員でも理事・役員でも、誰でもかまいませんので、どしどし質問をして、  
同時に自分の意見も述べてください。ロータリーについて、クラブについ  
て語り合い考え合うことは、極めて有意義なことです。そしてそのことが、  
反って「知り合いを広める」ことにつながるのです。

「ロータリーの窓」を開くと、その窓を通してロータリーのいろいろな  
ことが見えて来ます。受け止め方は様々でも、等しく心に残るものがある  
と思います。

「ロータリーの窓」は沢山の話題を提供する素晴らしいロータリー情報で  
あり、新会員ばかりでなく古い会員の方々にも是非お目通しいたゞきたい  
労作であると確信しております。

牟田 悌三 (現・副会長)  
竹花 務 (現・ロータリー情報副委員長)  
小松崎 泰 (現・ロータリー情報委員)  
藤井 百太郎 (元・ロータリー情報委員長)  
田中 昭太郎 (元・ロータリー情報委員長)  
島崎 信 (元・ロータリー情報委員)

東京世田谷南ロータリークラブ  
ロータリー情報委員会

(事務局) 東京都渋谷区渋谷2-22-14新免ビル8階  
TEL (03) 409-6086  
FAX (03) 409-3889

(発行) 1988年5月